

⑤ 日本国特許庁(JP)

⑥ 実用新案出願公開

⑦ 公開実用新案公報(U) 平2-61326

⑧ Int. Cl.

A 61 F 13/15
13/46

特許庁

庁内整理番号

⑨ 公開 平成2年(1990)6月8日

6737-4C A 61 F 13/15 300 B
6154-3B A 41 B 13/02
審査請求 未請求 請求項の数 3 (全頁)

⑩ 考案の名称 吸収性物品

⑪ 実 願 昭63-140179

⑫ 出 願 昭63(1988)10月27日

⑬ 考 案 者 利 明 神奈川県厚木市戸塚136番地 ロイヤルハイブ甲子A-206
⑭ 考 案 者 黒 崎 勉 神奈川県川崎市中原区上平間241 ライオン川崎寮
⑮ 出 願 人 ライオン株式会社 東京都品川区本所1丁目3番7号
⑯ 代 理 人 弁理士 林 宏 外1名

明 細 書

1. 考案の名称

吸収性物品

2. 実用新案登録請求の範囲

1. 透水性の表面材と、不透水性の防漏材、及び吸水水性材料からなる吸収体とを有する吸収性物品において、

上記吸収体の少なくとも表層部を複数の細幅帯状部片により構成し、これらの帯状部片を所定間隔をおいて並設すると共に、各帯状部片をそれぞれに施設した透水性シートにより相互に隔離状態に止留し、吸収体の中央部に位置する帯状部片の体液吸収速度を両側部に位置する帯状部片の体液吸収速度より相対的に高めてなることを特徴とする吸収性物品。

2. 吸収体の少なくとも帯状部片が、セルローススポンジを圧縮してなる圧縮セルローススポンジシートにより構成されていることを特徴とする

334

実用2-61326

実用新案登録請求の範囲第1項記載の吸収性物品。

3. 吸収体の中央部に低密度の圧縮セルローススポンジシートからなる帯状部片を配設してあることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第2項記載の吸収性物品。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は、生理用ナプキン、紙おむつ等の吸収性物品に関するものであり、更に詳しくは、体との密着性及び体液の漏れ防止性を改良した吸収性物品に関するものである。

〔従来の技術〕

今日市販されている生理用ナプキンや紙おむつ等の吸収性物品は、一般に、綿状バルブ、吸収紙、吸水膨潤性ポリマー等からなる吸収体と、ポリエチレンフィルム、防水紙等からなる不透水性の防漏材と、その表面を被覆する透水性の表面材

とで構成されている。

ところが、このような従来の吸収性物品は、吸収体が綿状バルブを平板状に積層したシート状のものを主体に構成されているため、強度や保形性の点で難点があり、使用中に体の動きによって該吸収体が切れたり、よれて塊になり易く、そのため体とナプキンの密着不良が起こるという欠点を有していた。そして、この現象は、吸収体が血液や尿等の体液を吸収した後に特に顕著に現われ、それが経血や尿の漏れを生じる大きな原因となったり、更には、着用者に異和感を与えるという欠点があった。

そこで、このような欠点を改良するため、緩々の提案がなされている。例えば、実開昭56-7700号公報には、ナプキンの幅方向両側部の一部を凹欠したものや、ナプキンの幅方向両側部が折曲し易いように圧搾条溝を設けたもの等が開示され、その一部が実用に供されている。